

TOKYO ART BOOK FAIR 2021

今年はオンラインとオフラインで開催決定！



TOKYO ART BOOK FAIR (TABF) は、日本で初めてのアートに特化したブックフェアとして2009年にスタートしました。国内外から独創的なアートブックを作る出版社、ギャラリー、アーティストらが年に一度東京に集結し、作り手たちが直接本の魅力を伝える場を提供し続けています。2019年に東京都現代美術館で第10回の開催を迎えたTABFは、約300組の出展者が参加し、4日間で3万5000人以上が訪れ、過去最大規模のフェアとなりました。しかしその翌年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からTABFは中止し、バーチャル空間でのアートブックフェア、VIRTUAL ART BOOK FAIR (VABF) を開催しました。

いまだに新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たず、今年もTABFも以前と同じやり方、規模での開催は難しい状況です。絶対的な「正しい答え」がない中での開催は、TABFとしても葛藤があり、多くの議論を重ねてきました。多くの本作りに関わる人たちは、現状を受け入れ、模索しながらアートブックの制作やさまざまなクリエイティブな活動を続けています。私たちも作り手と受け手が出会い、新たなアートブック、才能を見出すプラットフォームであり続けるため、2021年におけるアートブックフェアのあり方に向き合いたいと思います。

今年もTABFは、オフラインとオンラインの両方の会場で行います。オフライン会場となる東京都現代美術館では、10月28日（木）から31日（日）まで開催予定となります。それに先駆け、オンライン会場は10月22日（金）からスタートし、オフライン会場と合わせて10月31日（日）にクローズします。

オフライン会場では、出展者数、来場者数を制限するカタチで規模を縮小し、感染予防対策をしながら開催いたします。いつものように大人数で集い、ワイワイと賑わうことはでき

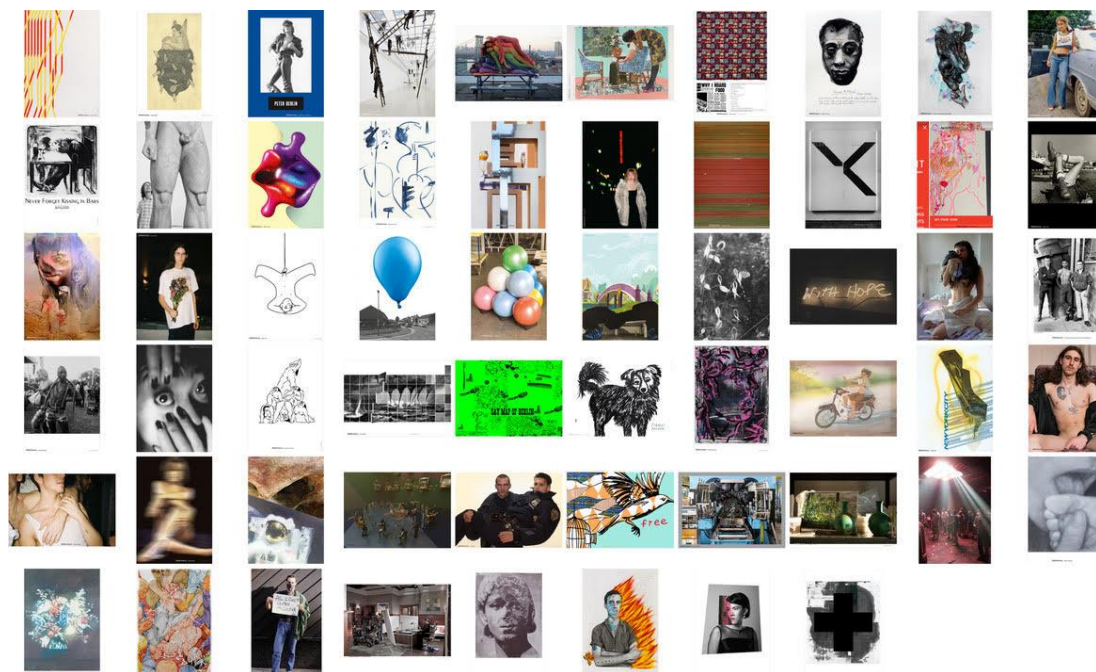
ませんが、落ち着いた環境で国内外から一堂に集結したアートブックにじっくりと向き合う体験をしていただけたと思います。2020年春にヴォルフガング・ティルマンズが主宰する非営利団体Between Bridgesが立ち上げた、アート、音楽関係のインディペンデントスペースやイベント、出版などを支援するためのプロジェクト「2020Solidarity」で制作したポスター58点のほか、パンデミック以降の国内外のアートブックやZINEなどの印刷物にフォーカスを当てた展示を開催します。

オンライン会場では、2020年のVABFの経験を活かし、オンライン上で各出展者と直接コミュニケーションを取りながらアートブックを購入することができます。一部のオンライン会場の出展者のアートブックやZINEは、オフライン会場で展示販売もいたします。オンラインとオフラインをつなぐ、新しいTABFにご期待ください。

オフライン会場

EXHIBITIONS

オフライン会場では、パンデミック以降のアートブックをフィーチャーする展示を開催します。オンライン会場出展者のアートブックやZINEをオフライン会場でも展示します。



2020Solidarity

2020Solidarity Posters

2020年春、未曾有の危機がアートシーンに大打撃を与える中、ヴォルフガング・ティルマンズが主宰する非営利団体Between Bridgesは、アート、音楽関係のインディペンデントスペースやイベント、出版などを支援するためのファンディングプロジェクト「2020Solidarity」を立ち上げました。ウィリアム・エグルストン、イサ・ゲンツケン、ニコール・アイゼンマン、ピータ

ー・ヒュージャー、森山大道、ジリアン・ウェアリング、ジェフ・クーンズ、リュック・タイマンズ、トーマス・ルフ、レイモンド・ペティボンら50名以上のアーティストがプロジェクトに賛同し、彼らが提供したアートワークを用いたポスターを作成。21カ国98の施設が参加してポスターを販売し、その収益はそれぞれの参加施設に支援金として寄付されました。本プロジェクトは2020年4月9日から8月10日まで実施され、日本からは、POST、ユトレヒト、twelvebooks、torch press、amala、IACK、clinic、ダイトカイ、アサクサ、LVDB BOOKSが参加しています。

TABFでは、2020Solidarityの全てのポスターを展示し、その一部を販売いたします。また、参加施設から集めたメッセージもご紹介する予定です。



Covid "Positive"

目を背けたくなるようなことに向き合うこともあれば、ネガティブに思われていた物事をポジティブに転換したり、私たちに日常の中で見過ごしてしまう些細なものに気づかせてくれたりと、独自の視点で私たちに新しいものの見方を提示するアートブック。マスメディアや個人のソーシャルメディアを通して、世界中で新型コロナウイルス感染症についての情報が連日発信されていますが、本展ではアートブックを通して、パンデミック以降の世界を考察します。ロックダウンの日々を記録したZINE、ニューノーマルを模索する中で生活を楽しむためのプロジェクトをまとめたアートブック、エッセンシャルワーカーを被写体とした写真集など、世界各国から新型コロナウイルスに関連する書籍を集めて展示します。



ONLINE⇔OFFLINE : ART BOOK VENDING MACHINE

TABFでは、2015年からひとつの国や地域の出版文化に焦点を当てる企画「Guest Country」を毎年開催してきましたが、パンデミックの影響で海外のアートブックやZINEを実際に手に取る機会が少なくなっている今年は、エリアを限定せず、世界各国の出版物を一堂に集めます。オフライン会場（東京都現代美術館）に巨大なART BOOK VENDING MACHINE（アートブック販売機）を設置し、海外を拠点とするオンライン会場出展者が、2019年以降に刊行したアートブックやZINEを展示販売します。



ONLINE⇔OFFLINE : Online Exhibitors' Library

国内を拠点とするTABFのオンライン会場出展者が、2019年以降に刊行したアートブックやZINEのサンプルを展示いたします。気になるものを見つけたら、オンライン会場にてお買い求めいただけます。

<オフライン会場 基本情報>

会期：2021年10月28日（木）15:30-17:45

2021年10月29日（金）、30日（土）、31日（日）10:30-17:45

会場：東京都現代美術館

住所：〒135-0022 東京都江東区三好4丁目1-1

公式サイト：<https://tokyoartbookfair.com/>

入場料：一般 1,000円（税込） * 事前予約・2時間15分ごとの入れ替え制

※ 各種割引、MOT年間パスポートはご利用いただけません。

※ 身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添いの方（2名まで）は無料になります。

※ 小学生以下の子どもは無料。大人1名につき小学生以下の子ども2名までは予約不要。

オフライン会場 チケット購入サイト：<https://bit.ly/3llmqWs>

販売期間：2021年10月4日(月) 12:00～ 各時間枠 終了時刻の30分前まで

※2時間15分ごとの枠の定員は、各300名になります。

※定員に達しましたら販売を終了します。

■ オフライン会場（東京都現代美術館）チケットについて

ご来場は時間予約制となっております。時間枠をご確認のうえチケットをご購入ください。入れ替え制のため、館内に滞在いただけるのは最大で2時間15分となります。ご指定いただいた時間枠内にいつでもご入場いただけますが、ご退館は時間枠終了時刻までになります。TOKYO ART BOOK FAIR（TABF）2021 では、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策を実施しております。安全なイベント開催のため、ご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

※政府・自治体によるイベントの開催に関する規制の変更があった場合、また感染状況においては、以下ガイドラインの変更及び開催の中止を含めた対応を行う場合があります。詳細については、公式Webサイト、SNS 等にて順次ご案内いたします。

※参加にあたり各種注意事項へ従っていただけない場合、他参加者の方の安全確保の為に退場していただくか、入場をお断りさせて頂く場合がございます。

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策についての詳しい情報は、以下URLをご覧ください。

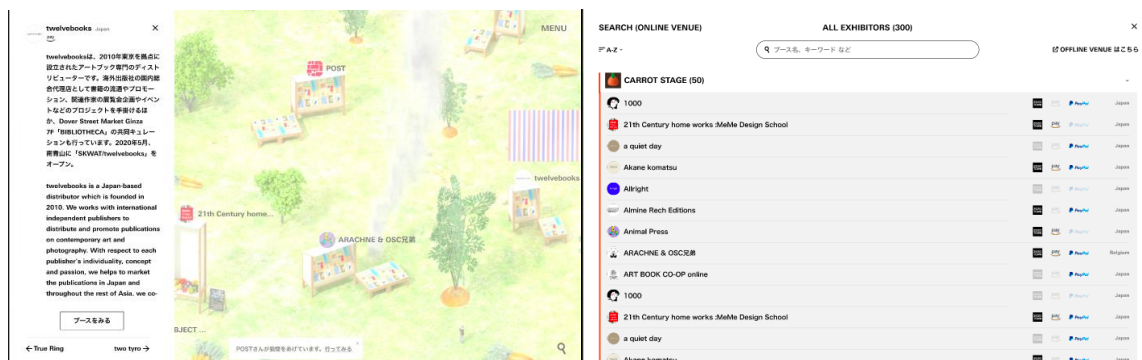
<https://tokyoartbookfair.com/news/16089/>

オンライン会場

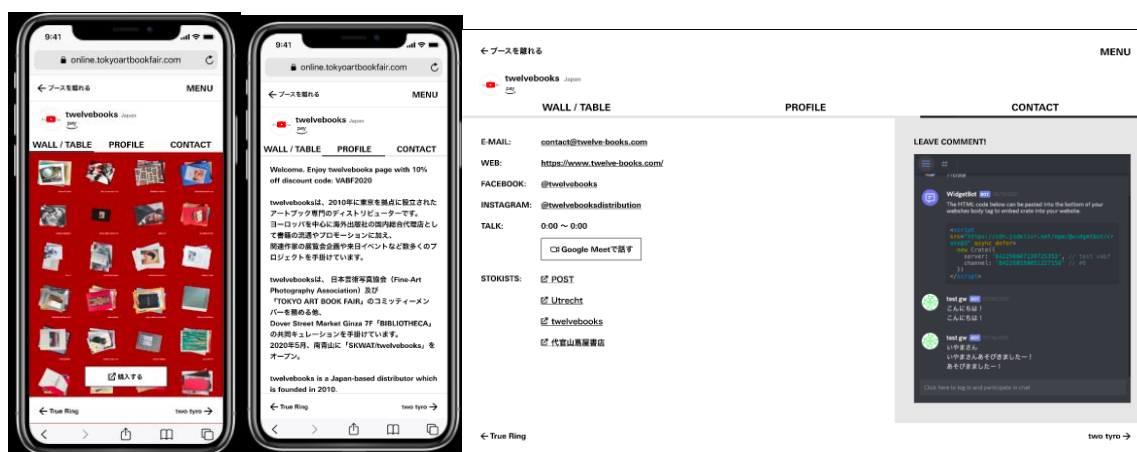


*画像はイメージです。

オンライン会場には、国内外の約260組の出展者が集結します。会場を訪れると、最初に表示されるのは土に埋もれた根菜です。「じゃがいも」「にんじん」「かぶ」「玉ねぎ」「にんにく」「ラディッシュ」は、6つのステージを示すアイコンになります。その中からひとつ選ぶと、根菜がぽこっと地面から出てきて、各ステージへと入場するシステムになります。それぞれのステージには、約40組の出展者ブースが並びます。



3D空間には、オフライン会場のものとは一味違う、野菜の無人販売所のような出展者ブースが並び、それぞれのブースを訪れるとウェルカムメッセージが出てきます。オフライン会場でブースを流し見するように、画面をスライドしながら隣のブースをチェックしていくことも可能です。またブースの検索機能やお気に入り登録機能もあり、オフラインとは異なるフェアの見方を楽しんでいただけます。



出展者の個別ページには、3D空間上の出展者ブースにあった「テーブル」と「壁面」の画像が大きく表示されます。画像の中に並ぶアートブックやZINE、グッズをクリックするとそれぞれのアイテムの説明文、詳細、価格が表示され、購入したい場合は、そのページから各出展者のECサイトへ遷移して購入いただく仕様になります。

同ページ内にある「CONTACT」には、出展者と直接コミュニケーションを取る様々な手段が表示されます。コミュニケーション手段は各出展者が任意で選ぶためそれぞれ異なりますが、Google MeetsやZoomを使ったオンライン会議、掲示板（BBS）などをご利用いただけます。

また同ページ内に、各出展者の取り扱い書店&ショップを記載する「Stockist」をご用意します。オフライン会場に足を運べないけど、実物のアートブックを見たいという方はご近所の書店やショップなどでぜひアートブックの魅力に触れていただければと思います。

※オンライン会場のワイヤーフレームを以下のURLで公開しています。プレスリリースと合わせてご覧ください。一般への公開は固く禁止いたします。

- ・ PC版：<https://tinyurl.com/jjcfs9h4>
- ・ SP版：<https://tinyurl.com/rfakubhh>

※一部掲載内容は公開時とは異なります。

※一般への公開は固く禁止いたします。

< TOKYO ART BOOK FAIR at ZOZOVILLA >

海外を拠点とするオンライン会場出展者の書籍の一部を、ファッション通販サイト「ZOZO TOWN」上のラグジュアリー&デザイナーズゾーン「ZOZOVILLA」にて販売いたします。昨年オンラインのみで実施した「Virtual Art Book Fair (VABF)」では、来場者が海外を拠点とする出展者のアートブックを購入する際に、時差や言語、通貨といったハードルがありました。その経験を活かし、今年はZOZOVILLA内にTABFの特設ページを作り、販売することで、国内の方が海外のアートブックを購入しやすい環境をご提供いたします。また、他社ECを介したTABFの書籍販売は、今回が初の試みとなります。

ZOZOVILLA <https://zozo.jp/zozovilla/>

販売期間：2021年10月22日(金)～2021年10月31日(日)

< オンライン会場 基本情報 >

会期：2021年10月22日(金)～2021年10月31日(日)

会場：<https://tokyoartbookfair.com>

コアタイム：10:30-18:00

*コアタイムは、オンライン会場出展者とリアルタイムで交流がしやすい時間帯になります。

入場：無料

オフライン会場

[展示エリア] 主催：一般社団法人東京アートブックフェア、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

[公募ブースエリア] 主催：一般社団法人東京アートブックフェア／特別協力：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

オンライン会場

主催：一般社団法人東京アートブックフェア／特別協力：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

協賛：株式会社イニユニック、芝パークホテル

助成：文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業

特別協力：株式会社ZOZO、ArtSticker（株式会社The Chain Museum）

広報に関するお問い合わせ： 鳥海陽子 press@tokyoartbookfair.com